

当面の日程

- 21日 戦争させない、9条壊すな！
5・3兵庫憲法集会プレ集会
(神戸市立総合福祉センター)
- 25日 パレスチナ自治区ガザでの戦闘の即時停止を
求める街頭宣伝行動 (JR元町駅東口南側)

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1670号

2025. 3. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

シリーズ 尾西が斬る! Vol.2

一刀亮談

いっとうりょうだん

2 災害に強い自治体をめざして

阪神・淡路大震災から30年となる節目の年。今年の人員確保闘争は災害対応を考へて取り組みを進めていきたいと思っています。

振り返るとあつという間の30年。当時と比べて何が変わったのでしょうか。

国では、阪神・淡路大震災後、災害対策の法制度が整備され、地震観測・情報提供の体制などが大きく変わり、庁舎や公共施設なども耐震工事が進みました。

しかし、その反面、災害支援に携わった現業職場の多くは正規職員不補充や委託化の波に吞まれていきました。行政職場はより効率化を進め、機構改革やシステムの導入など、人員削減が進みました。

各自自治体で、震災後にハード面の改善を図ってきたですが、人員配置を含めたソフト面は改善どころか後退しているのが現状ではないのでしょうか。

たとえば直営でのゴミ収集は、ステーション管理を行う上で市内のことはすべて熟知しています。いざ災害が起これば危険箇所の判断を行い、すぐに業務を進めることができますが、民間業者では無理です。

しかし、それは民間業者が悪いわけではありませ

ん。直営と民間の大きな違いは、直営の職員は直ちに市民、住民のために動くことができるのに対し、民間は契約内容に基づいてしか動くことができないためです。現状でも危険箇所に関しては、直営でしかできない業務もあります。

これまで兵庫県本部は「直営堅持」を基本に取り組みを進めてきていますが、今一度、災害にもしっかりと対応できる直営の必要性を追及し、災害に強い自治体をめざさなければなりません。

現業職場は市民生活も含

む環境を、学校給食・学校用務は教育の一環を、看護やコメディカル、病院給食は医療の一環を守っています。6月の人員確保闘争に向け、自治体としての災害対応のあり方や現業職の位置づけを明らかにさせ、正規職員補充や委託の再公営化などをめざして取り組みを進める必要があります。

今回は文化を守り、育てる行政職について考えていきます。

その後、参加者は3グループに分かれ、単組での課題や独自要求など意見交換を行った。多くの参加者から、近年増加している若年層の早期離職についての課題が出された。人員不足が早期離職の一因ではないかとの意見もあり、人員補充は重要。しかし、離職させないための具体策も労使双方で考えて行くべき喫緊の課題であり、取り組み強化が求められている。

とある目標の期日に向けて、昨年末にカウントダウンの日めくりを自宅に設置した。以来、瞬く間に減っていく数字に、時間の大切さを痛感しながら、実践できないことを後悔し続けている。

「時は金なり」「一寸の光陰軽んずべからず」など、時間に触れた名言・格言は数多ある。事程左様に、人にとつての時間は「命」と言えるほどの価値あるものである▼「コスパ」は人口に膾炙しているが、最近「タイムパフォーマンス(タイパ)」をよく耳にするようになった。限られた時間を最大の成果を得るために効率よく使うという考え方が、大切な視点だが、それを追求することで失われる何かがある気がする▼コスパ・タイパが悪くても向き合うべきことは、この社会に山ほどある。人が時間(「命」)をそこに注ぎこむ姿を見るにつけ、まだまだこの世の中も捨てたものではないと前向きになれる。



春闘課題について説明する亀瀧局長

県本部は2月8日、ひょうご共済会館で春闘討論集会を開催し、2025春闘勝利に向けて意思統一を行った。

山下忠之委員長は「春闘では全世代の賃上げ、そして中高年齢層の引き上げを進めるための制度改善をどう進めるかが重要な課題であり、そのための財源確保のためにも、政治力が必要だ。県本部は岸まさきさんを推薦決定しており、各単組においても岸まさきさんの周知をお願いする」とあいさつした。

引き続き島根県本部出身

の亀瀧真人本部労働条件局長より「2025春闘と単組活動からはじまる諸課題の前進に向けて」と題し「自治労は春闘を年間闘争のスタートと位置付け、人員確保を重点課題として全体で取り組むこととしている。各単組においては職場オルグを実施し、職場実態の把握と必要人員の確保をめざし、取り組みを進めてほしい」との講演を受けた。

また、自治労共済兵庫県支部の石井希佳事務局長から「安い掛金で組合員の可処分所得を上げるために、自治労共済を推進して

ホームページをみてくれて
ありがとうキャンペーン
正解者の中から10名様
淡路島の 特産品が当たる！
03.01-03.31
組合員専用ページはユーザー名・パスワードが必要です。詳しくは、単組役員にお問い合わせください。



各町職の課題が出された

集会では、各町執行部から地域手当への対応や単組独自課題についての取り組み報告があった。

その後、参加者は3グループに分かれ、単組での課題や独自要求など意見交換を行った。多くの参加者から、近年増加している若年層の早期離職についての課題が出された。人員不足が早期離職の一因ではないかとの意見もあり、人員補充は重要。しかし、離職させないための具体策も労使双方で考えて行くべき喫緊の課題であり、取り組み強化が求められている。

とある目標の期日に向けて、昨年末にカウントダウンの日めくりを自宅に設置した。以来、瞬く間に減っていく数字に、時間の大切さを痛感しながら、実践できないことを後悔し続けている。

「時は金なり」「一寸の光陰軽んずべからず」など、時間に触れた名言・格言は数多ある。事程左様に、人にとつての時間は「命」と言えるほどの価値あるものである▼「コスパ」は人口に膾炙しているが、最近「タイムパフォーマンス(タイパ)」をよく耳にするようになった。限られた時間を最大の成果を得るために効率よく使うという考え方が、大切な視点だが、それを追求することで失われる何かがある気がする▼コスパ・タイパが悪くても向き合うべきことは、この社会に山ほどある。人が時間(「命」)をそこに注ぎこむ姿を見るにつけ、まだまだこの世の中も捨てたものではないと前向きになれる。

春闘討論集会

職場に十分な人員配置を

現場実態の把握で課題を掘りおこす

町職連協交流集会

早期離職させない 環境づくりが不可欠

町職連協は2月22日に神戸市内で交流集会を11単組24人が参加し、開催した。この交流集会は町職単組が集まり、昨年から確定

闘争や各町職独自の課題の共有など取り組み強化をはかるため実施された。

集会冒頭、石田義浩議長(猪名川町職)は「地域手当の課題では、県内で引き上げと引き下げの単組があり、分断された。特に引き下げの単組では厳しい交渉となった。これから春闘の取り組みがピーク。職場の課題は、言わないと何も解決しない。小さな事でも声を集め、要求につなげて欲しい」とあいさつした。

とある目標の期日に向けて、昨年末にカウントダウンの日めくりを自宅に設置した。以来、瞬く間に減っていく数字に、時間の大切さを痛感しながら、実践できないことを後悔し続けている。

「時は金なり」「一寸の光陰軽んずべからず」など、時間に触れた名言・格言は数多ある。事程左様に、人にとつての時間は「命」と言えるほどの価値あるものである▼「コスパ」は人口に膾炙しているが、最近「タイムパフォーマンス(タイパ)」をよく耳にするようになった。限られた時間を最大の成果を得るために効率よく使うという考え方が、大切な視点だが、それを追求することで失われる何かがある気がする▼コスパ・タイパが悪くても向き合うべきことは、この社会に山ほどある。人が時間(「命」)をそこに注ぎこむ姿を見るにつけ、まだまだこの世の中も捨てたものではないと前向きになれる。

いまいち座

沈黙は金(かね)にならず



吉田ノボ

岸参議院議員活動報告

世界で唯一の戦争被爆国としての自覚



2月24日、立憲民主党大会での高校生平和大使OPの吉田桜さんのお話がとても印象的でした。中学生時代にアメリカ留学した際、先の戦争に関する知識を持ち合わせておらず、とても

悔しい思いをした経験から、核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴え「高校生平和大使」を志したとのことです。反対に日本政府は、国連本部で3月3日から始まる核兵器禁止条約締約国会議に、今年もオブザーバー参加すらしません。唯一の戦争被爆国である日本だからこそ、果たすべき使命があるのではないのでしょうか。

吉田さんも話されてましたが、自国他国を含め歴史に行動する時です。を正しく認識してこそ、初めて、平和な世界、紛争を解決しうる糸口が見いだせるのだと考えます。



講演をする辻さん

核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のメキシコを訪問した際に、「核廃絶はわれわれが住むことのできる地球を残す手段」と強調したことを重く受け止めて、今こそ国際平和に向け、私たち一人ひとりが積極的に行動する時です。

地域医療を守るため、市民病院への指定管理者制度導入を阻止すべく、諦めず取り組みだことや、市議会議員への働きかけについての講演を受けた。講演後は市立伊丹病院、三田市民病院、県立西宮病院の再編・統合に関する現況を各単組から報告を受け情報共有を図り、最後に「経営に関することを理解し、すばやく情報をキャッチすること、病院や組合員を守るためにもスケジュール感をもつて活動していくことが大事」と山根正也議長がまとめ集会を終了した。

YouTube Channel登録 & 高評価をお願いします！

きしまぎちゃんねる

参議院議員 岸まさこ

ここだけの情報も発信中！



医療職場の課題を訴える交渉団

県本部衛生医療評議会は昨年12月に提出した要請書について、2月13日に県当局と交渉を実施した。交渉は①医師偏在対策、②定年延長による新規採用の抑制をせず雇用の確保、③但馬・播磨地域などの地域の医療現場の人材確保、④タスクシフト・シェアによる特定行為研修への助成事業、⑤公立医療機関への財政支援の拡充、⑥医療現場でのパワハラ、カスハラについての6項目に加えて、災害応急手当についても追加で交渉を行い、県としての考えを求めた。

医療現場の定年延長による新規採用抑制や人材確保について県当局は「地域の採用の困難性も踏まえ、将来の医療ニーズ、圏域での役割等を見越して中長期的な定員管理計画を策定して適切な人員を採用するよう助言する」と回答。交渉団から「看護師確保は、公立病院のネットワークを駆使

してナースセンターサテライトをしつかり機能させること。また、公立病院の財政支援の拡充について、厚労省の補正予算や支援パッケージの情報を早急に提供してほしい」と要望。最後に経営強化プラン提出にあたり、医療分野は困難な課題が多いので、労使協議するよう要請し交渉を終えた。

はじめに尾西亮太郎県本部書記長は「公営企業は住

衛生医療評対県交渉

経営状況や人材確保の厳しさを訴える

さらに一歩進んだ財政支援を

公企評水道・下水道集会

重大事故を減らすには
委託問題など各課題を意見交換



福永事務局長と意見交換

民に密接した仕事を行っている。本日学習したことを単組へ持ち帰り、更に団結を固め、その力を県本部へ持ち寄ってほしい」とあいさつを行った。

主催者を代表して藤田直樹下水道部会長は「埼玉県八潮市の道路陥没のような事故を少しでも減らすためにも、今日と明日の2日間交流したい」と参加者へ呼びかけた。その後、三宅一茂議長による基調提起を受け、記念講演として福永浩二自治労公企評事務局長から「公企労働者の取り巻く情勢」について講演があった。質疑応答後、1日目を終了した。2日目は、事前調査を元に各単組の現状の報告や委託問題等の課題について意見交換を行い、交流を深めた。

くみん共済 NEWS 5120A034

自治体職員の交通事故に大きな力を発揮する

じちろうマイカー共済 自動車総合補償共済

交通事故による、まさかの失職に備えを！

公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であっても過失の罪を問われて職を失うのです。この場合、懲戒免職と同様に、退職金は支払われない場合がほとんどです。このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります！

くみん共済（全労済）は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

ご不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。

くみん共済 自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

まさか自分が、事故を起こすなんて…

STOP 事故

全労済自治労共済本部資料より引用